



2017年12月6日

共同海損精算人による海上保険セミナーを開催

外航貨物海上保険のご契約者や代理店など53名の関係者が参加

共栄火災海上保険株式会社（本社：東京都港区新橋1-18-6、社長：助川 龍二）は11月17日（金）、新橋本社大会議室において、実務経験豊富な共同海損精算人である関根 司（せきね つかさ）氏（チャールス・テイラー・ジャパン株式会社）による「共同海損の基礎並びに事故発生時の対応セミナー」を開催しました。このセミナーは外航貨物海上保険のご契約者および代理店を対象に開催したもので、53名の関係者が参加しました。

セミナーは、海上保険と周辺知識および事故発生時の対応などの習得を目的とした「基礎講座」と、共同海損の基礎や事故発生時の各当事者の対応を題材とした「本講座」の2部構成としました。

第1部の基礎講座は当社商品開発部海上グループリーダーの金田宏太郎が講師を務め、貿易取引や海上輸送にかかわる諸規定、海上保険の仕組み、事故発生時の対応や保険金請求の流れなど、約90分にわたり解説しました。

第2部の本講座では、冒頭、当社執行役員損害サービス業務部長の阪本隆史が挨拶し、「AI、IoT、ビッグデータなどの技術革新が進展する中であっても、国際海上輸送においては予期せぬ海難事故が発生する。また、共同海損となるような事故が発生した場合には専門的知識が不可欠となる。」と共同海損を理解することの重要性を訴えました。

続く本講座では、関根氏により約90分にわたり共同海損に関する講義が行われました。内容としては、「共同海損とは何か」「共同海損の成立要件」「共同海損事故の例」「共同海損とヨーク・アントワープ規則の関係」「共同海損の宣言」「共同海損の保証」「事故発生時の各当事者の対応」の7項目について具体的な事例やクイズを交えながら分かりやすく解説しました。

セミナー終了後の参加者によるアンケートでは、「大変勉強になり、今後の業務につなげていきたい」「共同海損の基礎を知ることができ、大変興味深い内容であった」「具体例があり分かりやすかった」「共同海損についてもっと知りたくなった」「基礎講座の内容をもとに、セミナーをより深く学ぶことができた」など、高い評価をいただきました。

今後も、当社では、今回のセミナーを定期開催とすることや、荷主ごとの小規模講座の開催などを検討しており、ご契約者や代理店からの要望を踏まえながらより有益なセミナーや講座を引き続き当社で企画・実施していく予定です。

セミナーの概要

開催日 : 2017年11月17日(金)

場 所 : 共栄火災海上保険株式会社 新橋本社大会議室

対 象 : 外航貨物海上保険のご契約者および代理店

内 容 : 基礎講座 [講義] 外航貨物海上保険

講師: 当社 商品開発部 海上グループリーダー 金田 宏太郎

本 講 座 [講義] 共同海損の基礎並びに事故発生時の対応

講師: チャールス・テイラー・ジャパン株式会社 代表取締役 関根 司氏

講師プロフィール

関根 司氏

- (略歴) 1978年 早稲田大学商学部卒
1978年 リチャーズ・ホッグ・インターナショナル入社
1979年 同社ロンドン本社勤務
1982年 同社ギリシャ支社勤務
1983年 同社東京支店勤務
1987年 リチャーズ・ホッグ東京支店代表就任
1992年 英国海損精算人協会資格試験合格
同協会の正会員に選出(正会員数約40名、日本人は1名のみ)
2013年 社名をチャールス・テイラー・ジャパンに変更

現「チャールス・テイラー・ジャパン株式会社」代表取締役



ご参考



第1部の基礎講座の講師を担当した金田宏太郎
(商品開発部海上グループリーダー)



本講座に先立ち挨拶を行った阪本隆史
(執行役員 損害サービス業務部長)



講義を真剣に聞く参加者の様子